

びょうぶこう

屏風港（直島町管理地方港湾）

屏風港は直島港の北方 4.9km の屏風島、喜兵衛島および杵島に囲まれた波静かな港です。

本港は、古くより島民の生活の場であり、また、漁船の避難港として利用されてきました。

昭和 14 年には養漁場が立地し、また、昭和 34 年には当時の小・中学校の分教場の廃校に伴うスクールボートの就航と相まって港の利用度は高まりました。

本港の整備は昭和 14 年に防波堤を建設したのに始まり、昭和 56 年にかけて逐次整備が行われ、現在へと至っています。

